放射線教育フォーラム 2026 年度第 2 回勉強会

2026 年 11 月 15 日 (日)　13:30~16:20　　（Zoom オンライン開催）

【開催趣旨】

放射線教育フォーラムでは、放射線の理解を深めるために、放射線に関する基礎的事項の説明から、放射線への興味を喚起するための事項を取り上げて勉強会を開催している。今回は環境省事業「ぐぐるプロジェクト」で行われている放射線の基礎知識と人体影響についての紹介、国際原子力科学オリンピックへの高校生の参加活動の紹介、中学校での放射線教育の実践の紹介など、それぞれの講演を通して、放射線教育の新たな一面に触れ、知識を深める機会となれば幸いです。

【プログラム】

開会挨拶（13:30～13:40）柴田誠一理事長

［座長：大野和子 ］

講演 1. 放射線の基礎知識と健康影響　- 福島第一原発事故を振り返って -

（13:40～14:40）

小野孝二（東京医療保健大学）

放射線の基本的な性質と人体への影響を解説し、福島第一原発事故後の被ばく線量や健康影響に関する科学的知見を振り返ります。低線量被ばくや遺伝的影響についても、身近な医療被ばくと比較しながら分かりやすく紹介します。

休憩（14:40～14:50）

［座長：緒方良至 ］

講演 2. 国際原子力科学オリンピック（INSO）の趣旨と日本代表選手団の活躍

（14:50～15:30）

飯本武志（東京大学）

IAEA アジア太平洋地域技術協力プログラムの支援と企画を受けて 2024 年より始まった INSO。日本は 2025 年大会（マレーシア）と 2026 年大会（サウジアラビア）に、4 名の高校生を送った。その経緯と成果を報告する。

［座長：渡部智博 ］

講演 3. 中学 3 年間における放射線教育

（15:30～16:10）

奈良大（国立大学法人愛知教育大学附属名古屋中学校）

前回（令和 4 年）の登壇以降、令和 5～8 年度に実践した「中学 3 年間における放射線教育」について、教員自ら放射線教育関連施設を訪れ、そこで得た学びや経験を授業レベルに落とし込んだ事例等も踏まえて紹介する。

閉会挨拶（16:10～16:20）緒方良至副理事長